

連載 第1回

## 家族と地球と 子世代のための家

暮らしのゼロエネルギー=ゼロエネ生活を  
実践できる「ZEH」について、その普及に  
取り組む小山貴史さんにお聞きします。



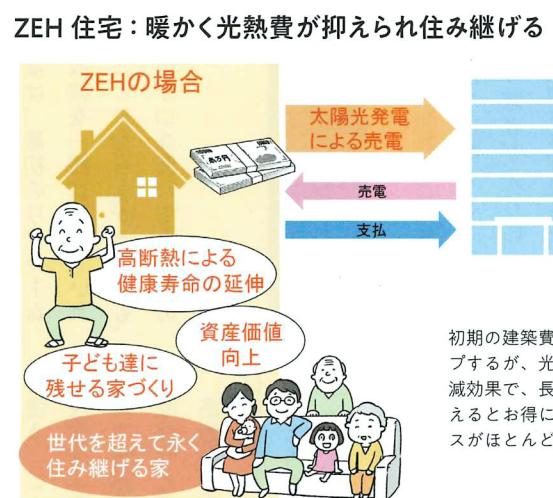
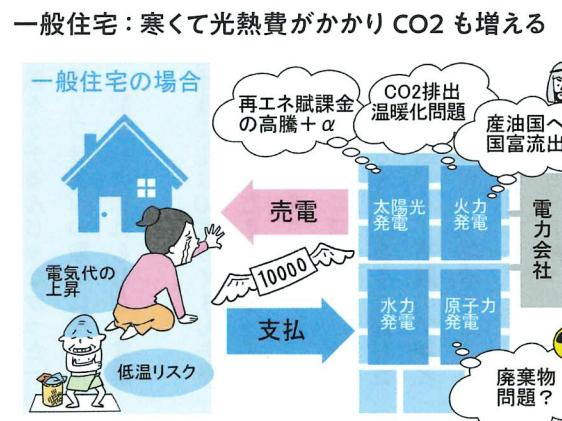
解説 小山貴史  
Koyama Takashi

ZEH推進協議会 代表理事。  
エコワーカス（福岡市）代表取締役  
工務店を経営しながら、業界団体の代表  
や国の有識者会議の一員として暮らし分  
野のゼロ炭素化に向け精力的に活動

光熱費削減

温暖化防止

# メリットいっぱい 住宅の新定番



初期の建築費用はアップするが、光熱費の削減効果で、長期間で考えるとお得になるケースがほとんど

あり、急速に普及率が上がっています。

**松本** ZEHの普及が必要な理由はわかりました。具体的にはどんな住宅なのですか？

高断熱+省エネ設備+再生エネ＝ZEH

小山 国はZEHの要件を定めています。まず、冷暖房に頼らずに快適な室内環境を保てるよう断熱性能を高めること。次に冷暖房器具や照明、給湯設備などエネルギー機器を省エネ性能の高いものに

して、エネルギーを効率よく使うようにする。そして、太陽光発電を使って、エネルギーの年間収支予測をおおむねゼロ以上にする。

**松本** コストがかかりそう。

小山 たしかに初期の建築費用は高くなります。ですが、高断熱化で光熱費が安くなったり、太陽光発電で余った電力を売電したりと、建築費用とランニングコストをトータルで考えると、結果的には一

般的に住宅と比べてお得になるケースがほとんどです。

**松本** そうなんですね。

小山 高断熱で健康状態が改善することで、医療費が抑えられるという研究結果もあります。

**松本** 家計にはプラスになりますね。

小山 ZEHは温暖化・脱炭素、さらには健康長寿や医療費削減といった社会的な課題に応える住宅。地球環境問題への対応という次世代への責任を果たすことができます。これから家のづくりに欠かせない考え方ではないでしょうか。

資産価値

健康寿命

ゼッチ（ゼロ・エネルギー住宅）

# ZEH

最近よく聞く  
キーワードを  
Q & Aで解説

松本（聞き手） 住宅展示場などで「ZEH」という言葉を見かけますが、なんでしょうか？

松本 温暖化問題ですね。

小山 はい。私は脱炭素、そして国策としてのエネルギー確保の点から、ZEHが住宅のスタンダードになるべきだと考えています。

小山 巨大ハリケーンや豪雨、大波などの異常気象が世界各地で起きていて、経済的にも大きなダメージを与えています。この流れで取り組む住宅会社も増えているので、住宅展示場でも見かけるのだと思います。

松本 給湯や冷暖房にはエネルギーを使います。なぜ消費量がゼロになるのでしょうか？

小山 使うエネルギー以上のエネルギーを太陽光発電などでまかなうからです。

松本 なるほど。そもそもなぜ国はZEHを推進するのでしょうか？

**小山** ZEHで脱炭素に貢献 住宅のスタンダードへ

松本 日本では以前ほど温暖化対策が言われなくなつた気が……。

**小山** 世界的には化石燃料を燃やさない「脱炭素社会」にシフトしています。例えば自動車業界では、トヨタ自動車が2025年頃までに全車種にプラグインハイブリッド車または電気自動車を設定するという目標を発表しました。

松本 住宅業界の脱炭素社会に向かって建つのでしょうか？

松本 2030年までに2013年比で26%削減、2050年までに同80%削減という目標を掲げています。住宅分野ではZEHの普及が目標達成に向けた削減計画に盛り込まれているのです。

松本 日本では以前ほど温暖化対策が言われなくなつた気が……。

**小山** 世界的には化石燃料を燃やす「脱炭素社会」にシフトしています。例えば自動車業界では、トヨタ自動車が2025年頃までに全車種にプラグインハイブリッド車または電気自動車を設定するという目標を発表しました。

松本 現状ではZEHはどの程度まで達成されていますか？

**小山** 2016年時点では新築住宅の約1割。補助金などの効果も国も2020年にZEH普及率50%、2030年にはZEH普及率100%という目標を掲げています。

● ZEH=つかうエネルギー < つくるエネルギーの家

一般住宅

つかうエネルギー量

つくるエネルギー量

暖房  
冷房  
換気  
給湯  
照明

削減

余った分は売るまたは蓄える

つかう より ほうが 多い

つくる より ほうが 少ない

・住宅の断熱性能の向上  
・高効率設備の導入